

ワークショップを通じて 2030年のあるべき姿を考える

1 くまもとSDGsプラットフォームの機能

本稿では、当研究所が熊本市からの委託事業「熊本連携中枢都市圏SDGsパートナー事業運営等業務」で運営している「くまもとSDGsプラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という。）」での取組みについてご紹介します。2023年8月号でご紹介したマッチング支援の取組みに続き、一般市民・学生等に対するSDGsの普及啓発に関するご紹介です。

本プラットフォームは、熊本県のSDGs登録制度に登録された企業や団体等が加入できる「場」であり「環境」です。①広がる②学ぶ③つなぐをコンセプトに、熊本連携中枢都市圏内の会員同士が交流できる仕組みが構築されています。特に今回、ワークショップの体験を通してSDGsを「学び」理解を「広げる」ことで、現在が未来のあるべき姿へと「つながる」ことを目指しています。

📄 くまもとSDGsプラットフォームHP (<https://kumamoto-sdgs.jp/>)



以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

共創による持続可能な熊本連携中枢都市圏の実現

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)